

事業番号	06 05 08	事業改善シート(26年度実施事業分)		<input type="checkbox"/> 予算要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	1・2年課程訓練事業費			担当課	部局	産業労働部	
総合5か年計画	プロジェクト			課・室	人材育成課		
	施策の総合的展開	1-1 信州をけん引するものづくり産業の振興 4 人材の育成・確保		E-mail	jinzai@pref.nagano.lg.jp		
		1-6 職業能力の開発と安心できる雇用・就業環境づくり 1 職業能力開発の推進		実施期間	S13 ~		

1 事業の概要

目指す姿	技術専門学校において、新規学卒者、離転職者等を対象に、就業に必要な基礎的な技能・知識習得のための普通課程及び短期課程の職業訓練を実施することにより、県産業界の基盤を担う技能者の育成と就業の促進を図る。		
現状(予算編成時)	○若年労働力人口の減少、高学歴化、若者のものづくり離れ等により、本県経済を支える製造業等において若年技能者が不足している。 ○新規学卒者、離転職者を対象に、企業ニーズ、受講ニーズに即した職業訓練を実施する必要がある。		
県が関与する理由	県でなければ実施不可(その他)	【左記の説明、根拠法令等】 国庫補助を有効活用しながら実施することが効果的である 職業能力開発促進法第15条の6、第9次長野県職業能力開発計画、長野県ものづくり産業振興戦略プラン	
	県民との協働による実施：困難		

成果目標・事業内容	① 成果目標(H26)					
	○普通課程修了生の就職率85%程度を目標とする。 ○普通課程の定員充足率85%程度を目標とする。					
	② 事業内容 (単位:千円)					
		項目	実施方法	H26事業実績		
				H26		
				(当初)	(決算)	
				H27		
				(当初)		
		外部講師の配置	直接	44,625	28,703	42,906
		就職講演会講師の配置	直接	457	157	457
	教材費等	直接	31,650	31,650	28,971	
	原材料費	直接	4,541	4,053	4,541	
	郵便料等	直接	423	423	423	
	複写機使用料	直接	136	0	136	
	合計		81,832	64,986	77,434	

事業コスト	区分(単位:千円)					成果目標の達成状況						
	予算額	前年度繰越					項目	H25末(実績)	H26			H27目標
		当初予算	91,102	85,500	81,832	77,434			目標	成果	達成状況	
		補正予算	-7,739		-12,100							
		合計(A)	83,363	85,500	69,732	77,434						
	Aの財源	一般財源	34,951	30,229	20,479	26,814	修了生の就職率	H26.3 91.9%	85%	H27.3 91.4%	達成	87%
		県債					定員充足率	H26.4 72.4%	85%	H27.4 71.9%	未達成	75%
		国庫支出金	21,327	24,483	23,303	23,303						
		その他	27,085	30,788	25,950	27,317						
	ト	決算額(B)	80,726	68,025	64,986							
概算人件費	職員数(人)											
	概算人件費(C)	0	0	0	0							
	概算事業費(B(A)+C)	80,726	68,025	64,986	77,434							

目標に対する成果の状況	<ul style="list-style-type: none"> ・就職に向けた支援を行うとともに、景気の回復基調により求人が増えたことから、就職率は目標を達成した。 ・また、景気の回復基調により求職者が減ったため、技術専門学校への入校者が減り、結果として定員充足率は目標を達成できなかった。
-------------	--

2 今後の事業の方向性

今後、事業をどのようにしていきたいか	<input type="checkbox"/> 事業を実施しない <input type="checkbox"/> 事業を見直して実施 <input checked="" type="checkbox"/> 事業を現行どおり実施 <ul style="list-style-type: none"> ・修了生の就職率については、就職指導と支援体制を維持していく。 ・定員充足率については、入校生の確保に向けPRを行うとともにカリキュラムや機器整備など、地域ニーズに応えた魅力的な学校づくりを進めていく。
--------------------	--